

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		重症心身障害児支援センター すてっぴあいる		公表日		R8年3月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用者の状況に応じて部屋を分ける等、スペースを確保している。 玩具や椅子など必要時にのみ出し、リスクを減らしながらスペースを確保している。	今後も、スペースを上手く活用して参ります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	日によって個別対応が必要な子どもが居る場合、職員の数がもう少し必要かと思う。 利用者の状態によってもう少し必要な時がある。	その日の子ども的人数などに合わせて基準以上の職員を配置しています。今後も利用人数や状況に加え、活動内容に応じて配置をして参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		必要最小限の物や設備の配置にしている。 クッションフロアを床と壁に使用し、怪我等のリスクへの配慮がされている。 活動など時間や場所ですべて区切って行っている。	今後医クア児が増えていく際には児に合わせた医療機器やベットが必要になり、スペースや環境の検討が必要になってくる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃、消毒を徹底して行っている。	快適に過ごして貰えるように、今後も環境整備を行って参ります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		スヌーズレンで落ち着くことが出来るようになっている。 仕切り扉で部屋を区切ることが出来るようになっており、個別対応が必要な時や活動内容に応じて区切っている。	今後も、状況に合わせた環境整備に努めて参ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	個別での聞き取りを行い、情報共有により検討改善に努めている。	職員の勤務時間が違う為、全員で集まって話し合える場を作ることが難しい。その中で協議できる場を作ること今後検討していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		今年度が初回	評価表の内容を確認し、申し送りにて常勤職員へ周知と、改善案の話し合いを行います。 また、常勤からパートへの周知を図り改善に努めています。保護者の意見に今後も真摯に向き合って業務改善に努めて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		個別での聞き取りを行い、情報共有により検討改善に努めている。	職員の勤務時間が違う為、全員で集まって話し合える場を作ることが難しい。 協議できる場を作ること今後検討していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	第三者評価は実施していません。	必要があれば今後第三者評価を行い、業務改善に繋げていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	全員参加の研修は難しいため、個別で研修を実施している。 法人の研修はいける職員に参加してもらい、情報共有で研修内容を他職員へ行っている。	事業所内の研修の機会が少ないため、全体に対しての事業所内研修を充実させていく事と研修時間の確保が課題です。 外部研修の情報提供も今後積極的に行っていきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			法人HPにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者と面談の機会を設け、ニーズや思いを聞き、課題を分析した上で計画を作成している。	今後関わる職員間での情報共有や、見直しを行う場を増やし、更なる支援計画のブラッシュアップを図っていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			担当者会議に現場職員も参加し検討をしています。支援方針を共通理解できるように努めています。引き続き、最善の利益を考慮した検討を行うよう努めて参ります	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	支援計画をツールを使用し情報共有を図っています。	引き続き情報共有と、計画に沿った支援が行えるよう努めて参ります	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		ラインワークスを使用し、日々の様子等を入力することで情報共有を行っている。	事業所で標準化したアセスメントシートを作成し使用しています。 日々のアセスメントも共有ツールにて行い、共有を行っています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の狙いを踏まえ具体的な支援内容を設定しています。今後もガイドラインの再度周知を図り、意識して支援して参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	4	年間計画を基に毎月の活動をスタッフ間で話し合い毎月内容を検討して計画を進めています。	チームではなく担当者と管理者で行っているため、今後担当だけでなく立案、計画を行える環境を作って参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	季節の行事を取り入れながら固定化しないよう行っています。	毎月活動を変え、子ども達が意欲的に参加できる様に工夫しています。今後も次の展開を考え、活動内容を増やしていけるように努めて参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		定期的なモニタリングを基に日々の活動から個別・集団の課題を抽出し、支援計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	指示書の作成とツールでの情報共有により役割分担等を事前に確認できるようにしている	朝の申し送りが出来ていないこともある為、今後必ず行うよう徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	勤務時間がバラバラなこともあり、振り返りは難しいことが多い。気になったことは後日確認するようにしている。	振り返りの内容を情報共有ツールで職員が共有できる様にしています。今後も支援の統一を図って取り組んで参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		連絡帳や情報共有ツールを使い日々の記録を行っている。	引き続き、ツールを活用し、今後の支援に繋げていけるよう記録を行って参ります。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的なモニタリングを保護者や利用者と共にラインワークスや、担当職員からの聞き取りで利用者の状況を確認し、職員間での話し合いで見直しを行っています。	引き続き確認を行いながら取り組んでまいります。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		現場職員に参加してもらっている。参加が難しい際は事前に情報の聞き取りや状況資料を貰い会議にて情報共有を行っています。	引き続き、連携を図りながら取り組んでまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		月に一度嘱託医の問診があります。相談支援担当者を介し、関係機関との連携を図っている。	今後も連携を図って取り組んでまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		計画相談支援、委託相談事業を介して連携を図っています。	今後も連携を図って取り組んでまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	小学校の先生に事業所の様子を診てもらったため来所してもらい情報提供を行っています。	保育所等訪問支援や、計画相談支援、委託相談事業を介して連携を図っています。今後も連携を図って取り組んでまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		児童発達支援センターが同法人で、隣接しているため、連携を図っています。	今後も連携を図って取り組んでまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		園や地域中での交流は実施がありません。今後園や地域での交流を検討して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		保護者と送迎時にコミュニケーションをとり関係を作れるように心がけている。	今後も保護者様との情報共有を丁寧に行い共通理解に努めて参ります
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	年に2回、法人の主催の研修を外部(保護者含む)向けに行っています。実際の現場の様子を送迎時や、活動時に見ていただき、対応方法のアドバイスをしています。	研修会や、情報提供の機会を増やせるよう努めて参ります。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明をさせて頂いています。 また、運営規定に関しては玄関にファイルを 設置し、支援プログラムはHPに掲載し常時閲覧できる環境を作っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		モニタリングと面談で保護者からのニーズの聞き取りと、現場職員からの子どもの様子の聞き取りにより作成しています。	今後も意向確認を行うとともに、お子さん、保護者の意思の尊重、利益の優先の考慮をして参ります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		送迎時に直接支援計画を見せながらの説明を行っています。	支援内容の説明を行い、同意を得ています。 変更の際も同様に対応させていただいています。 今後も丁寧な対応を心がけて参ります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	送迎時等に聞き取りを行っています。都度要望や必要があった際に面談の時間を設けアドバイス等対応させて頂いています。	引き続き、迅速かつ丁寧に対応出来るよう努めて参ります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		現在父母、兄弟同士の交流する機会を設けることは実施していません。今後親子参加のイベント等交流の機会を企画立案し、実施できるようにして参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			事案が起きた際には担当から常勤・管理者へ迅速に報告を行い、内容を確認し対応をしています。何かあればすぐ上司、苦情管理責任者に相談し対応するようにしています。今後も迅速かつ適切に対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月おたよりを作成し活動内容の報告を記載し、HP上にて掲示しています。	お便りの情報を保護者様へ周知できていない部分もあったため今後しっかりお知らせを行い観て頂けるようにして参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の書類は鍵付きの書庫に保管しています。また、閲覧用の書類に関しても外部への持ち出しなどを禁止し取扱いに注意しています。面談室を設け、話し声が聞こえないように配慮しています。	引き続き、十分に留意して参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		外国の方の保護者様へは連絡帳をひらがなのみの記入にさせて頂いたり、口頭説明も分かりやすい言葉の使用を行い丁寧な対応を心がけています。	特性に合わせたツールを利用し、意思疎通や情報伝達を行っています。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		様々な機関のや事業所の見学の受け入れを行っています。今後地域住民を招待するイベントを考えて参ります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			各マニュアルのファイルを作成しいつでも閲覧可能な環境を作っています。保護者には今後HP等への掲載により周知します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			業務継続計画を作成し、定期的に避難訓練等の必要な訓練を行っています。今後も継続して必要な訓練を行って参ります。 重心医ケア児に対する非常時の対応訓練を今後行っていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			契約時に聞き取りにて確認を行っています。 確実な聞き取りを今後も心がけて参ります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	現在食物アレルギーのあるお子様の利用はありません。	契約時に聞き取りにて確認を行っています。 確実な聞き取りを今後も心がけて参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		安全計画、安全確認チェック表を作成し、安全管理をしたうえで支援を行っています。研修は現在計画を進めており、定期的な研修を行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		安全計画をHPへ掲載し、取り組み内容を周知していきます。安全を第一に考え、研修や訓練を実施するなど、安全管理を徹底して参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットや事故報告書を描いてもらったものを職員間で周知するため閲覧ファイルを作成し、確認印により周知確認を行っている。	気になった時やヒヤリとした時等に書類を作成し、申し送り時に情報共有と話し合いを行い再発防止に取り組んでいます。今後も情報共有と、再発防止に努めて参ります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			入社時のオリエンテーションにて職員に研修を行っています。研修の機会を確保し、日々の支援の振り返りを行い、虐待防止に努めて参ります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			身体拘束に委員会の設置と定期的な会議にて決定しています。保護者には契約時に説明を行っています。今後も確実な説明と、必要に応じて支援計画への記載を行って参ります	